

viの使い方

情報システム・セキュリティ実験 I (最所分)

20G470

竹原一駿

最所研究室

viとは

■ ほとんどのUNIXシステムに**最初から入っている**

- POSIXと呼ばれるUNIXの標準規格で定義
- Emacsは規格上、定義されていない
 - ✓ 入っていない環境も少なくない

エディタ戦争

■ 機能拡張されたvimがある

- 拡張を除いたvimをviとしていることもある

■ どの**モード**で動作しているのか注意する

- viモード (ノーマルモード)
- コマンドラインモード
- 挿入モード (Insertモード)

```
~
~
~      VIM - Vi IMproved
~      version 7.4.629
~      by Bram Moolenaar et al.
~      Modified by <bugzilla@redhat.com>
~      Vim is open source and freely distributable
~
~      Help poor children in Uganda!
~ type :help iccf<Enter>      for information
~
~ type :q<Enter>              to exit
~ type :help<Enter> or <F1>   for on-line help
~ type :help version7<Enter> for version info
~
```

`vi` の実行結果

vi を立ち上げよう

■ プロンプトが出ている状態で, emacs と同様に,

vi [ファイル ...]

と入力する

- たとえば `vi /var/log/secure`
- **R** オプションで, Read Only モード
 - ✓ `vi -R /var/log/secure`
 - ✓ 書き込みたくないファイル(ログファイル等)に使う

viのモード

■ viモード

- カーソル移動や文字列の検索などを行う
- 起動直後のモード
- **挿入モード**や**コマンドラインモード**に移行する

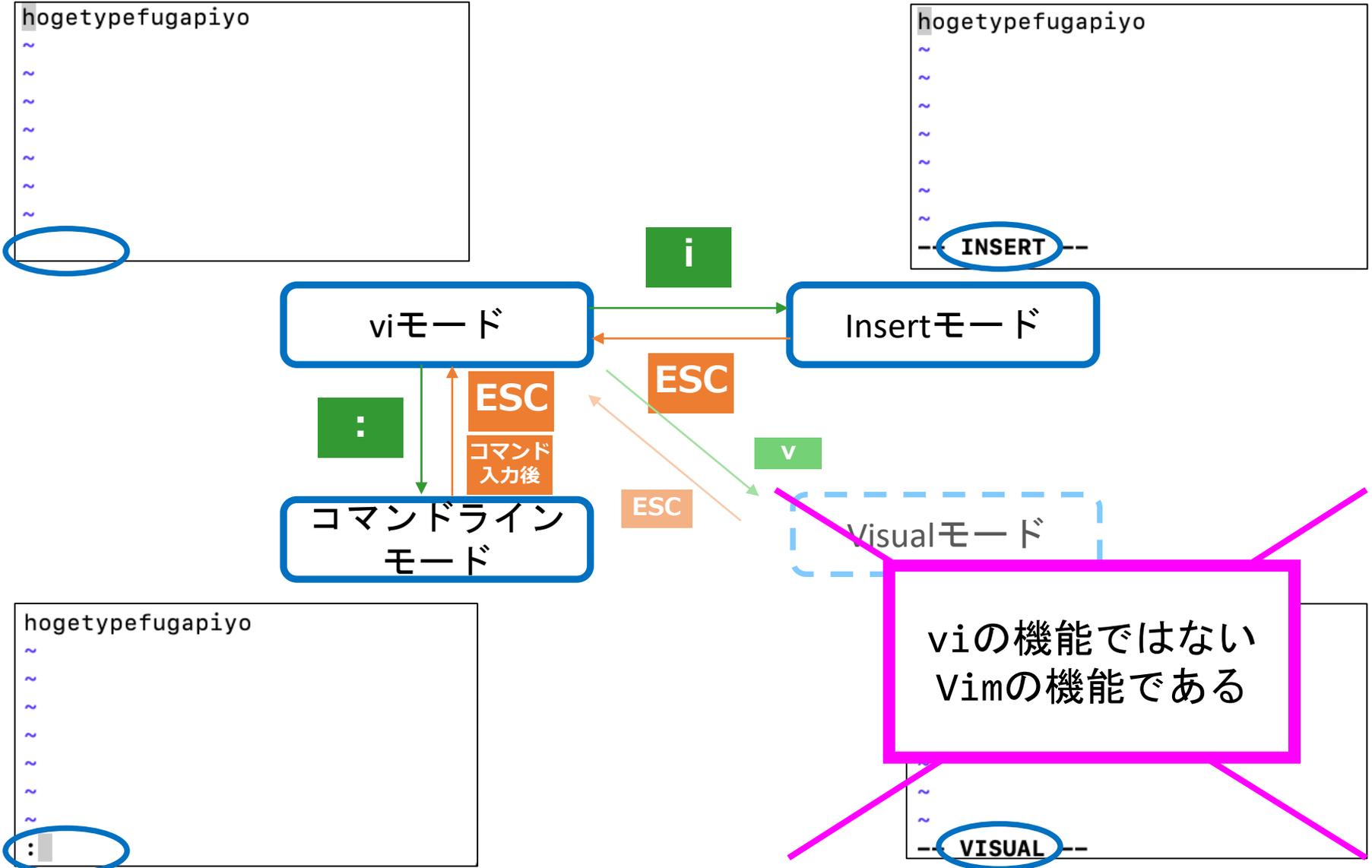
■ 挿入モード

- 文字入力を行うモードである
- **挿入** ('i'や'A'などで移行) または **上書き** ('r'や'R'などで移行)
- それ以外は**ESCキー**を入力することでviモードに戻る
- 1文字上書きで移行した場合は1文字入力後に自動的に戻る

■ コマンドラインモード

- コマンドを用いて編集する
- ':'(コロン)で移行
- ファイルの保存や終了, 一括変換などを行う
- **コマンドを実行すると**自動的にviモードに戻る

モード切り替え



コマンドラインモードの操作

■ ファイル操作

- ファイルの保存： 'w' と入力
- 名前を指定して保存： 'w' の後に空白を挟んでファイル名を入力

■ 終了方法

- viを終了： 'q' と入力
- 保存と同時に終了： 'wq' と入力
- 強制終了： 'q!' と入力

■ 文字列置換

- 範囲指定の後に s/対象文字列/置換後の文字列/[g] と入力
- 文字列には行頭を表す '^' や行末を表す '\$' が使える
- 正規表現で置換できる
- 'g' を指定しないと、同一行に複数の候補がある場合に先頭のもののみ置き換えられる

viモードの基本操作(一部)

■ 入力位置の移動

l(エル) : 右に1文字移動 (カーソル移動キーの →)

j : 1行下へ (カーソル移動キーの ↓)

k : 1行上へ (カーソル移動キーの ↑)

h : 左に1文字移動 (カーソル移動キーの ←)

Enter : 次の行の空白でない最初の文字の位置に移動

C-f : 1ページ次へ (Ctrl押しながらf)

C-b : 1ページ前へ

数字の後にG : 指定した数字で示される行に移動する



■ 削除 (内容は自動的にコピーバッファにコピーされる)

x : 現在位置の文字を1文字削除する

dd : 現在行を削除する

■ コピー & ペースト

Y : 現在行をコピーバッファに入れる

数字を指定した場合は、指定した行数分コピーバッファに入る

p : コピーバッファの内容をペーストする

文字単位やワード単位では現在位置の後ろに、

行単位の場合は現在行の後ろにそれぞれペーストされる



■ 検索コマンド

前方検索:

‘/’の後に検索する文字列を入力し, Enter

後方検索:

‘?’の後に検索する文字列を入力し, Enter

‘n’を入力すると直前の検索を繰り返す

